

少年写真新聞 2013年7月8日発行 第887号付録
 Juniors' Visual Journal ©少年写真新聞社2013年
 ※著作権法により、本紙の無断複製・転載は禁じられています。
 株式会社少年写真新聞社 〒102-8232 東京都千代田区九段南4-7-16市ヶ谷KTビル1

**理科教育
ニュース**

★定期刊行物は終わる期間を予定しない刊行物ですから、年度が変わりましても、購読中止のお申し出のない場合、引き続きニュースをご送付申し上げます。

少年写真新聞社のホームページ
 当社発行物のご案内や、情報教育関連の最新情報、紙面とリンクした情報をお届けします
<http://www.schoolpress.co.jp/>

魚の歯と食性

元 神奈川県立西湘高等学校 教諭 池田博明

動物の歯は食性と密接に関係しています。たとえば、ネコの臼歯は肉を切り裂く鋭い裂肉歯となり、ゾウの臼歯は植物をすりつぶす多稜の臼歯となっています。食性と関連した歯を持つことは、魚類にも当てはまります。

魚類の歯は、形によって円錐歯・犬歯状歯・臼歯・門歯状歯・櫛状歯・絨毛状歯などと分けられます。円錐歯は多くの魚に、犬歯状歯は肉食性の魚に、臼歯は貝殻その他固い餌を捕食する魚に、門歯状歯は岩礁などに固着する生物を食べる魚に、櫛状歯は付着ソウ類を食べるアユなどに、絨毛状歯は柔軟な餌を食べる魚に見られます。魚類の歯は脱落すると新しい歯が何度でも生える多生歯です。ちなみに、ヒトの歯は臼歯が一度しか生えない一生歯、ほかの歯は一度生えかわる二生歯です。サメの歯の化石はよく発掘されますし、有名な化石コノドントは円口類（ヤツメウナギなど）に近縁のクリダグナサスの歯でした。

■魚食性 アカカマスの歯

カマスは鋭い大きな犬歯状歯が上顎前方に4本、その後方に12本が2列に並んでいます。下顎前方に2本、その後方には2列14本。細

かい歯も並んでいます。魚にかみついたらはなさない魚食性の歯です。カマスは歯で釣り糸を切る、釣り人をかむなど攻撃的な魚です。

■雑食性 マダイの歯

マダイには円錐歯と臼歯があります。幼魚はオキアミなどの動物プランクトンを食べ、1歳以上の魚はエビやカニ、イカや腐肉などを好みます。円錐歯はかみつく歯で上下の顎に4本ずつ備わっています。小さく2列に並んだ臼歯はやわらかい食物をすりつぶす役目をします。

同じ仲間でも浅瀬に住むクロダイは雑食性が強く、海藻をかみ切る円錐歯が6本とマダイより多く、貝やフジツボなどの硬い殻を砕く臼歯が5列もあります。

■付着生物食性 ウマヅラハギの歯

ウマヅラハギの口は小さく、板状の門歯状歯が並びます。イソギンチャク・貝類・珪藻・紅藻などの付着生物や底生動物のほか、動物プランクトンを主に食べます。

■のどにある歯 咽頭歯

歯は顎だけではなく、口腔や咽頭の骨に生えることもあります。また、原始的な魚では、上顎を前へ伸ばせず吸引式の捕食ができないため、口腔内の歯の役割が大きいのですが、スズキの仲間になると、前上顎骨が発達して上顎を前に伸出させる吸引式の捕食が可能となり（図）、餌は口腔を素通りして咽頭部に飲みこまれるようになります。その結果、口腔の歯は退化して、咽頭歯が発達します。咽頭歯は食物のそしゃくや切断に使われます。特にコイやサンマ、トビウオのような胃のない魚では咽頭歯がよく発達しています。

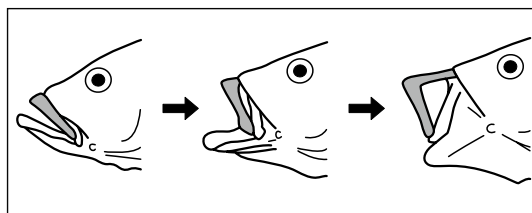


図 上顎を前に伸ばす様子